

2025年7月2日  
株式会社SVPジャパン

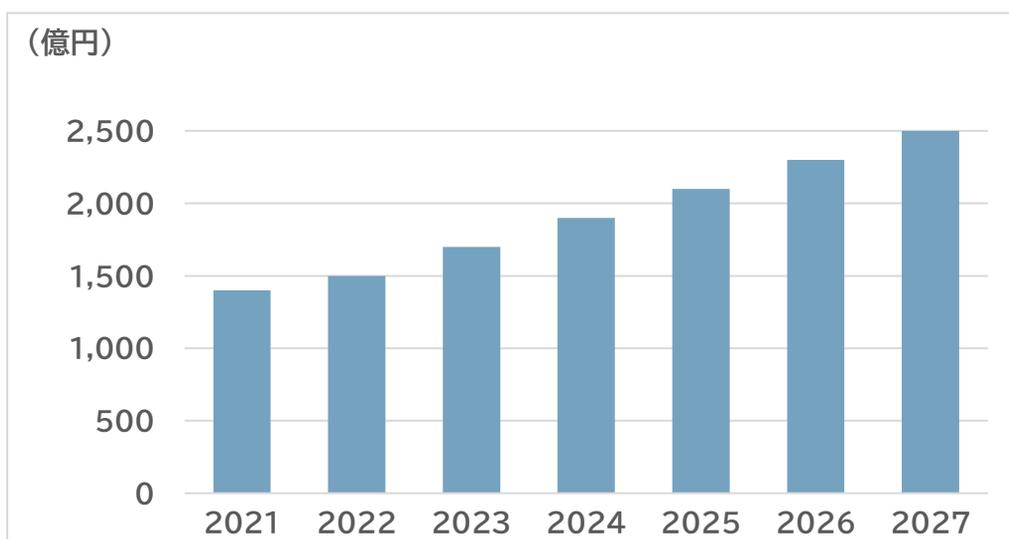
## SVP注目市場分析 「産業用燃料電池」を公開

～クリーンエネルギー時代を支える産業用燃料電池の実力～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「産業用燃料電池-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

### ■ 産業用燃料電池の世界市場



産業用燃料電池は、脱炭素社会の実現に向けた次世代電源として注目を集めている。とりわけ、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギーである水素を利用することで、カーボンニュートラルの要請に応える、中・大型の分散型電源としての活用が広がっている。近年では、発電効率の高さや廃熱利用によるエネルギー効率の向上といった特長が評価され、工場、データセンター、商業施設など多様な産業分野で導入が進んでいる。

2024年時点の世界市場規模は約2千億円に達し、年間出荷台数は1,500～2,000台と推定される。地域別には、燃料調達コストの優位性や政策支援を背景に、北米が約50%、アジア太平洋地域が40%超を占めており、特に米国と韓国が市場を牽引している。今後も技術革新と生産規模の拡大により、コスト低減が進むことで、さらなる市場拡大が期待される。

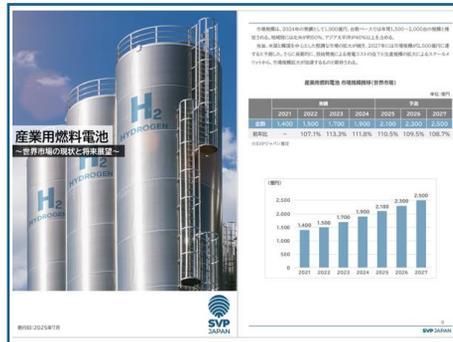
## ■ 産業用燃料電池の市場概況

産業用燃料電池市場では、SOFC（固体酸化物形燃料電池）が主流であり、システムの低コスト化が進み、市場シェアを伸ばしている。その他、発電事業者向けにはMCFC（熔融炭酸塩形燃料電池）やPAFC（リン酸形燃料電池）の大型システムも存在する。これらの燃料電池は、バイオガス等の副産物を燃料源として活用することで、環境負荷の低減に寄与する。市場競争の面では、米国のBloom Energyおよび韓国のDoosan Fuel Cellが先行企業として高いシェアを保持している。Bloom EnergyはAppleやGoogleなどの大手テック企業をはじめ、広範な業種で採用実績を持ち、日本ではソフトバンクと提携。Doosan Fuel Cellは、韓国国内に加え、米国や中国でも事業展開を進めている。また、日本企業の動向として、東芝エネルギーシステムズは、独自技術によりセルスタックの高耐久性、高安定性を実現した純水素燃料電池システム「H2Rex」を開発している。



## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、  
SVP会員様限定でございます。

## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



## ■ 次回のテーマ

8月のテーマは「酸化ガリウムウエハー/パワー半導体」と「自動車」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)